

第 83 回全日本学生ヨット選手権大会 北海道予選

開催地 北海道小樽市祝津ヨットハーバー

大会期間 平成 30 年 9 月 14 日 (金) ~ 平成 30 年 9 月 17 日 (月)

共同主催 北海道学生ヨット連盟

北海道セーリング連盟、小樽セーリング協会

レース公示

「SP」レース委員会から審問なしにまたは、プロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティが課せられる。

「NP」艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

1. 規則

1.1 本大会は「セーリング競技規則 2017-2020」（以下、『規則』という）に定義された規則を適用する。

1.2 規則の定義にある規則(g)には全日本学生ヨット連盟にて入手することができる以下の文書が含まれる。

- (1) 全日本学生ヨット連盟規約
- (2) 470 級学連申し合わせ事項
- (3) スナイプ級学連申し合わせ事項
- (4) 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項

1.3 SCIRA 規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

1.4 規則 41 に以下を追加する。

『(e) 自チーム内での情報の交換』

1.5 規則 60.1(b)に以下を追加する。

『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または障害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』

1.6 付則 D は適用しない。

1.7 次の規則を追加する。

『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第 2 章の規則

違反に対してのペナルティーはないものとする。』

2. 競技種目

470 級. スナイプ級

3. 資格及び参加申し込み

3.1 参加資格

(1) 参加チームの競技者は、次の事項を満たしていなければならない。

(a) 2018 年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(b) 全日本学生ヨット連盟規約第 6 条に定められた競技出場資格を満たしていること。

(c) 470 級の競技者は、日本 470 協会の 2018 年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。

(d) スナイプ級の競技者は、2018 年度 SCIRA 会員であること。

3.2 参加申し込み

(1) 参加資格のあるチームは、申込書類一式を平成 30 年 9 月 8 日(土)必着で電子メールを送信するとともに、要求された書類を添付し平成 30 年 9 月 10 日(月)必着で郵送することにより参加申し込みすることができる。

参加申込書 2 は競技者名簿であり、マネージャー等の選手以外の名前は記載してはならない。

(2) 電子メールで送信が必要な申込書類は以下のとおり、Excel 形式のまま電子メールに添付すること。

1 参加申込書 1

2 参加申込書 2 (競技者名簿：スナイプ級の競技者は、SCIRA 会員番号を記載のこと)

3 参加申込書 3 (支援艇許可申請書)

(3) 郵送が必要な申込書類は以下のとおり。

1) 参加申込書 1

2) 参加申込書 2 (競技者名簿：スナイプ級の競技者は、SCIRA 会員番号を記載のこと)

3) 参加申込書 3 (支援艇許可申請書)

4) 参加申込書 2 に記載した競技者全員が『2018 年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。

5) 470 級は「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。

ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。

6) スナイプ級は「スナイプクラス計測証明書」の写し。

(4) 申込期日までに支援艇が決定していない場合、大会実行委員会担当者に事前にその旨を連絡した上で、平成30年9月13日(木)必着で参加申込書3(支援艇許可申請書)を電子メールで送信することにより、支援艇許可申請書を提出することができる。

(5) 期日を過ぎてからの申込み、期日時点での書類の不足または不備は、9月13日(木)12:00までの提出に限り、レイトエントリー扱いとする。レイトエントリーはペナルティーとして参加料を50%増しとする。

(6) 期日を過ぎてからの艇または競技者の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。

(7) 参加申込先は8月20日までに北海道学生ヨット連盟メーリングリストで共有する。

4. 参加料

4.1 参加料等は以下のとおり。

参加料 1校・1クラス

30,000円/

4.2 振込み期日は、平成30年9月10日(月)とする。

4.3 振込先は以下のとおり。

振込先：北洋銀行小樽駅前支店、口座名義 北海道学生ヨット連盟委員長 三木茜

振込口座番号：345 3306717

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

5. 艇

5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。

5.2 470級は2018年団体登録を完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。

5.3 スナイプ級は2018年度SCIRA登録が完了し、かつ本大会の計測を完了していること。

5.4 予備艇使用は破損の場合のみとし、最初の適切な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。

新たに使用する艇は本大会の大会計測を完了していなければならない。

6. セール

6.1 各チーム3セットする。なお、各チームとも3セットの予備セールを認める。

6.2 470級のセールは基本計測が完了し、本大会の大会計測を完了していること。

また470クラス協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。

メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。ただし、メイン・セールまたはスピネーカーの交換がテクニカル委員会に認められた場合に限りセール番号は同一でなくてもよい。

6.3 スナイプ級のセールは2018年度の年度計測が完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。

また2018年度SCIRAに登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。

6.4 両クラスとも同一のセール番号を同時に複数の艇で使用してはならない。

6.5 セール交換は破損の場合のみとし、最初の適切な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。

7. 日程

7.1 計測 平成30年9月13日、14日9時～

7.2 受付・登録 平成30年9月14日(金)14:00 - 15:30

7.3 主将会議平成30年9月14日(金)15:15 - 15:45

7.4 開会式 平成30年9月15日(土)8:30

7.5 レース日 平成30年9月15日(土) - 平成30年9月17日(月)

7.6 表彰式・閉会式 平成30年9月17日(月)15:30 -

7.7 レース日に行われるレース数は次のとおり。

日程	470級	スナイプ級
9月15日(土)	4	4
9月16日(日)	4	4
9月17日(月)	3	3

各日程の最大レース数は「5レース」とする。実施レース数はレース委員会の裁量による。

7.8 レース日の08:15より、ブリーフィングを行う。

レース日の470級の最初の予告信号予定時刻は09:30とし、スナイプ級の予告信号はその後に適宜発せられる。

7.9 9月15・16日は16:00、9月17日は12:00を超えて予告信号が発せられることはない。

8. 受付

8.1 参加チームは7.2の時間内に受付・登録を完了させなければならない。

9. 計測

9.1 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。

9.2 本大会の事前計測は、平成30年9月13日14日に実施する。

「大会計測完了証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。

9.3 各日の最後のレース終了後、海上にてテクニカル委員会に呼ばれた艇は、指示に従いインスペクションを受けなければならない。

10. 帆走指示書

帆走指示書は8月30日(木)までに、各大学学連宛てに送付するとともに、北海道学生ヨット連盟のホームページに掲載する。

帆走指示書に対する事前質問は、9月9日(日)までに3.2に示した連絡先にメールで提出のこと。

事前質問に対する回答は、9月14日(金)の主将会議までに公式掲示板に掲載する。

11. 開催地

【添付図A】は「レース・エリア」を示す。

12. コース

【添付図B】は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含む「コース図」を示す。

13. 得点

13.1 大会の成立には、2レースを完了することが必要である。

13.2 クラス別のチーム得点は、完了した全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計

とし、より得点の少ないチームを上位とする。この項は規則 A2 を変更している。

13.3 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則 A8 の「艇」を「チーム」に置き換えてタイを解く。

13.4 総合得点は、両クラスに参加した大学の全ての得点の合計とし、より得点の少ない大学を上位とする。

13.5 総合得点がタイとなった場合は、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。

14. 支援艇

14.1 支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇する全ての艇を指す。

14.2 支援艇のあるチームは、受付時に「参加申込書 3」として提出した「支援艇許可申請書」の写しを提示することにより、「支援艇許可書」を受け取ることができる。

14.3 「NP」「DP」 支援艇は水上にいる間、大会本部で貸与する『緑色旗』を水面より 1.5m 以上の高さに掲揚しなければならない。

14.4 「NP」「DP」 支援艇は、レース委員会およびプロテスト委員会の通信を傍受してはならない。

15. 賞

賞は次のように与えられる。

国際 470 級 賞状 1 位～3 位

国際スナイプ級 賞状 1 位～2 位

総合 賞状 1 位～2 位

16. 責任の否認

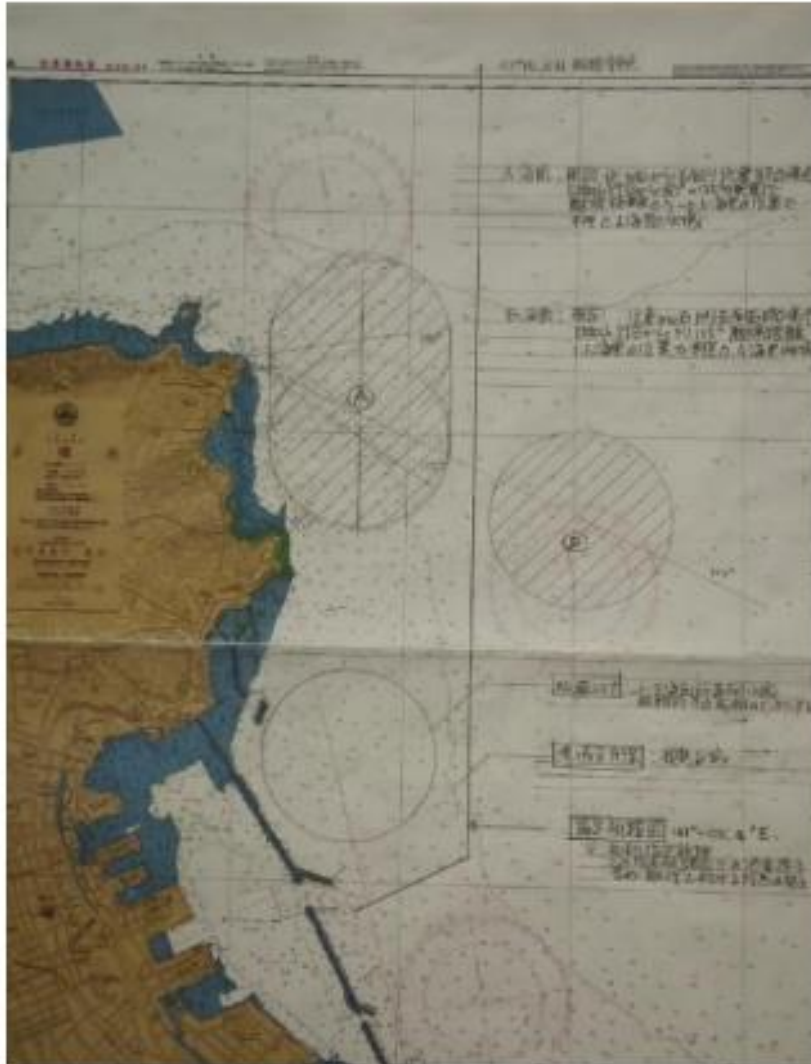
この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 問合せ先

本大会に関する問い合わせ先は、以下のとおりとする。

北海道学生ヨット連盟 委員長 : 三木茜 (参加申込先に同じ)

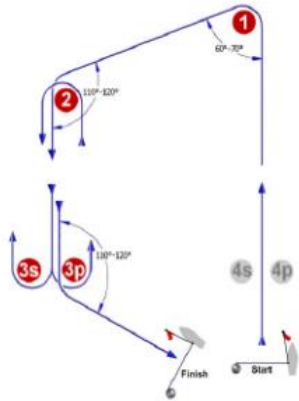
【添付図 A】 レース・エリア



主要座標	緯度1度=緯度60分=60海里	
	緯度1分=1海里(NM)=1.852KM	
祝津沖水域 :	緯度 43° -13.0 N~43° -14.9 N	東経 141° -01.2 E~141° -03.7 E
海面 A :	緯度 43° -13.6 N~43° -14.8 N	東経 141° -01.2 E~141° -02.3 E
同中心 :	緯度 43° -14.0 N~43° -14.4 N	東経 141° -01.7 E
海面 B :	緯度 43° -13.2 N~43° -14.0 N	東経 141° -02.5 E~141° -03.7 E
同中心 :	緯度 43° -13.6 N	東経 141° -03.0 E
*協定航路		東経 141° -02.4 E
ハーバー入口 :	緯度 43° -14.1 N	東経 141° -00.9 E

【添付図 B】 コース図

O



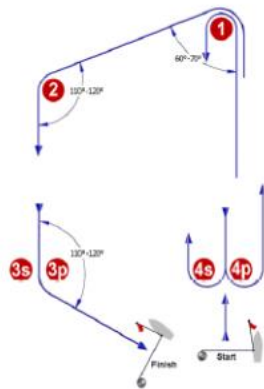
コース O 1: スタート → M1 → M2 → 3p/3s → M2

→ 3p → フィニッシュ

コース O 2: スタート → M1 → M2 → 3p → M2 → 3p

→ フィニッシュ

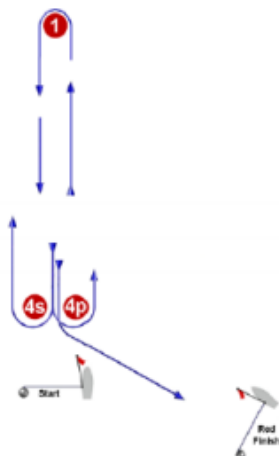
I



コース I 1: スタート → M1 → 4p/4s → M1 → M2 →
3p → フィニッシュ

コース I 2: スタート → M1 → 4p → M1 → M2 → 3p
→ フィニッシュ

LR



LR2: スタート → M1 → 4p/4s → M1 → 4p → フィニッシュ

LR3: スタート → M1 → 4p/4s → M1 → 4p/4s → M1 →
4p → フィニッシュ